第29回
北九州市手話フェスティバル

手話パフォーマンス

終着駅への軌跡

一人の男がゆっくり歩いている。切符を買いホームへ向かい列車に乗り込む。途中から別の男が乗り合わせる。しばらくは他人行儀だったが、お互いにろう者と分かり意気投合。二人はろう者の歴史というべき、影に埋もれたエピソードの数々を語り合う。「ろう者の理想郷（ユートピア）がある」とその男は言い、まさかと疑った男は、密かに期待する。終着駅にさしかかる頃、その男は用事があると言って途中下車してしまう。終着駅に着いた男は何を想うのか。

終着駅への軌跡制作委員会
米内山明宏氏と那須英彰氏が 1995 年に東京で初演。以来、全国各地で 50 公演以上が連日満席。時を経て、不朽の名作が砂田アトムと江副悟史によって、今ここに蘇る。

主演:砂田アトム/江副悟史
原作:米内山明宏/那須英彰

北九州市の手話祭典「手話フェスティバル」のご案内です。

私たち聴覚障害者は、毎年12月の「障害者週間」を記念して北九州市手話フェスティバルを開催し、この行事を通じて市民の皆様とのふれあいを大切にして参りました。

さて、今回は、ろう文化の世界では有名な砂田アトム氏と江副悟史氏をお招きすることができました。手話パフォーマンス「終着駅への軌跡」は、故米内山明宏氏、那須英彰氏から譲り受け、手話で語るろう者の実話（体験）に基づく物語を不滅のテーマとして砂田アトム氏と江副悟史氏が新たに挑戦します。是非、手話パフォーマンスをご覧いただき、手話言語について皆様と一緒に考えるひとときを過ごせたら幸いです。

なお、手話パフォーマンスには手話通訳はつきませんので、ご了承ください。

と　き　2026年12月6日(日) 13時～(開場12時15分～)
ところ　北九州市戸畑市民会館大ホール
入場料　大人　2,000円（当日2,500円）
小人　1,300円（当日1,500円）
※小人は高校生以下

記念講演　手話パフォーマンス(90分)
講師　砂田アトム氏　江副悟史氏

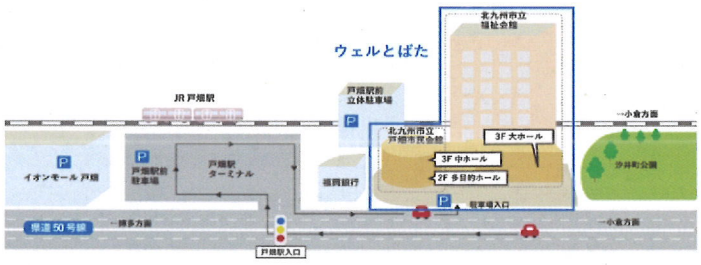
講師プロフィール

砂田　アトム　氏

愛媛県松山市生まれ。愛媛県立松山聾学校卒業後、上京。
現在は、手話劇、絵画活動、手話指導など日々、奔走中である。
2022年に出演した「LOVE LIFE」（監督・深田晃司）が第79回ヴェネチア国際映画祭に選出され、レッドカーペットを歩く。趣味:レトルトカレー集め。

江副　悟史　氏

東京都出身。日本ろう者劇団に入団後、手話狂言や自主公演などに出演。2010年3月までNHK「こども手話ウイークリー」のキャスターを務める。映画『獄に咲く花』で杉敏三郎役を演じる。2017年より日本ろう者劇団の劇団代表を務める傍ら俳優、演出、手話指導、キャスターなど幅広く活躍中。2024年、ろう・手話を中心とした芸能事務所「株式会社エンタメロード」設立。



【会場へのアクセス】
JR鹿児島本線「戸畑駅」南口から徒歩1分です。
西鉄バス・「戸畑渡場」「戸畑」行き「戸畑駅」で下車。バス停より徒歩1分です。

【駐車場】
駐車台数120台　30分毎150円
各種障害者手帳をお持ちの方、
駐車料金が5割引になります。
注）時間上限制はありません。

後　援（予定）／北九州市・社会福祉法人北九州市社会福祉協議会他
協　力／　北九州手話の会新虹の会・北九州市登録手話通訳派遣センター他
問合先／特定非営利活動法人北九州市聴覚障害者協会事務局
TEL／FAX　093－881－0114（受付 10:00～17:00）